

埼玉県立浦和商业高等学校（商業科・情報処理科）「スクール・ポリシー」

目指す学校像	重点目標		
グローバルに展開する経済社会において、多様な分野で幅広く活躍する商業人材の育成	①	1 資格取得などの段階的な目標設定を通じて高度な知識・技能の習得を図るとともに、応用力・創造力を育む探究活動を通じてたくましく生き抜く力を養う。 2 地域の中核を担う商業高校として、教育活動の充実を図り、魅力ある商業教育を推進する。 3 キャリア教育を推進し、社会人として必要な知識・技能や教養とマナーを身に付け、規範意識を持ち、生涯にわたり主体的に行動できる人材を育成する。	
<b>1. グラデュエーション・ポリシー (GP)</b> ～育成を目指す資質・能力に関する方針～	②	<b>2. カリキュラム・ポリシー (CP)</b> ～教育課程の編成及び実施に関する方針～	<b>3. アドミッション・ポリシー (AP)</b> ～入学者の受入れに関する方針～
商業に関する専門的知識・技能と問題解決能力を有し、組織や社会において生涯に渡り主体的に行動できる人材（商業人材）を育成する。 1 商業に関する知識・技能を、共通教科（商業以外の教科）に関する知識・技能と関連付けながら、生きて働く知識・技能として活用できる。 2 教育活動全体を通じて身に着けた思考力・表現力・判断力等をもって、未知の状況にも適切に対応できる。 3 主体的に多様な人々と協働して行う探究活動を通じて涵養した学びに向かう力、人間性等をもって、学びを人材や社会に生かそうとすることができる。	③	<b>【教育課程の編成方針】</b> 1 商業に関する知識・技能を生きて働く知識・技能とするため、4分野を体系的系統的に学べる科目配置とする。特に、マーケティング分野の1科目以上の必修、マネジメント分野の2科目以上の選択履修を実現する。ただし、情報処理科についてはその専門性を高めるためビジネス情報分野を深化させることに主眼を置く。そのため、商業の体系的系統的な学びについては、選択科目の配置やビジネス情報分野の学びにおいて補完する。 2 未知の状況にも適切に対応できる思考力・表現力・判断力等を教育活動全体で育めるようにするため、低学年のうちから学校全体で論理力や読解力を育成するような、教科等横断的な視点をもって教育課程を編成する。 3 学びを人材や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性等を涵養するため、学校内部・外部資源の活用を視野に入れて教育課程を編成する。 <b>【教育課程の実施に関する方針】</b> 1 カリキュラム・マネジメントの中核である総合的な探究の時間（3年次「課題研究」で代替え）の効果的実施に向けて、読解力や論理力を育成するため、議論や文章作成の質向上を図る。そのため、1年次より協調学習などの主体的・対話的で深い学びやフレームワーク（R80やPREP、PBLなど）を活用した問題解決学習を充実させる。また、発表会や論文作成で成果を検証する。 2 教育課程について、学校自己評価システムシート上でPDCAサイクルを年3回廻すことで、教職員全体で精緻化を推進する。 3 生徒にも自らの学びをキャリア・パスポート上でPDCAサイクル化させることで、教育課程の精緻化のための情報を収集する。	「グローバルに展開する経済社会において、多様な分野で幅広く活躍する商業人材の育成」という本校の目指す学校像（スクール・ミッション）及び重点目標に鑑み、組織や社会において生涯に渡り主体的に行動できる人材（商業人材）となる意思や意欲を持った生徒を募集する。 「選抜基準」や「活性化・特色化方針」、「成長物語」、「学校案内」へブレイクダウン 「教育課程」や「シラバス」、「学習の手引」、「キャリア・パスポート」等へブレイクダウン
<b>【作成上の留意点】</b>			
1. 各学校の存在意義・社会的役割等を明確にすることにより、「目指す学校像」（スクール・ミッション）や「重点目標」の再定義を行うことから始める。 2. 校長のリーダーシップの下、全教職員が学校関係者の意見も採り入れながら、3つのポリシーを作成する。その際、スクール・ミッション等に基づきGPを作成し、GPを達成するためにCPを作成し、スクール・ミッション等やGP、CPを踏まえてAPを作成するものとする。その際、3つのポリシーが選抜基準や活性化・特色化方針、成長物語、学校案内等と連関することを意識して作成する。			